

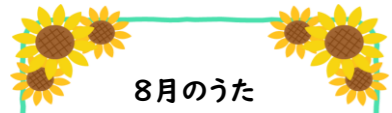


8月のおひさまだより



ついに小学生も夏休みが始まり、毎日おひさまは元気な子どもたちの笑い声が響いています。夏休み期間中は夏祭りや本社訪問・工場見学などの行事を予定しています。今年も猛暑日が続くと予想されていますので、適度に休息をとりながら、この夏をみんなで元気に過ごしていきたいと思います。

七夕飾りみんなでつくりました



8月のうた
アイスクリーム 海 せみのうた
みずあそび とんぼのめがね
手のひらを太陽に



アルミホイルで、にじみ絵を描いて
夏祭りの看板に飾る花火を作ったよ!



Tくん・Hくん・Yくん おたんじょうびおめでとう☆

みずあそび はじめました!




泡あそび

水鉄砲での当て

夏休み中の持ち物について


先日お伝えしていますが、忘れ物が多く見られます。

- ・宿題・歯みがきセット・おしぼりタオル
- ・白ご飯(給食の日)・箸セット・着替え(下着も)

を必ず持ってきてください

※持ち物には必ず名前を記入してください

宿題についても、一行日記・丸付けは保護者の方が必ずしてください。おひさまだけでなくご家庭でも進めてください



※8月の行事予定※

2日(水)・9日(水)・18日(金)
サンアビリティ

4日(金)・16日(水):図書館

8日(火):夏祭り

17日(木):ひよこ工場見学

※上靴を必ず持参して下さい

22日(火):本社訪問



ひゅーまんだより 令和5年8月号

平成15年8月7日に桂川にて、弊社の前身である有限会社ケア・サービスもみの木を設立し、訪問介護事業をスタートさせてから早くも20年が経過しようとしています。

振り返ると、その道のりは決して平たんなものではありませんでしたが、向日葵のようにひたむきに上を向き続け頑張り続けたから今があるのだと実感しております。

これまで支えて頂いた利用者様やご家族、関係事業所の皆様のおかげでここまでこれました。本当にありがとうございます。

職員一同 初心に帰り、気を引き締めて仕事に取り組みたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



 ヒューマンホールディングス株式会社

〒820-0082 福岡県飯塚市若菜256-77

もみの木ケアプランセンター
シニアコミュニティもみの木
もみの木相談支援センター
電話：0948-26-8338

シニアコミュニティつばき
電話：0948-29-5366

〒820-0001
福岡県飯塚市鯉田1140-2

おひさま
電話：0948-21-0777

もみの木 つばき [検索](#)

大場PTのリハビリ講座

こんにちは、理学療法士の大場です。今回は隙間時間を有効に使うて体の機能を向上させる『ながら体操』を紹介します。「さあ、体操しよう」と構えなくても、日常生活の中で少し工夫することで、時間をかけずに効果を得られる体操です。



朝、起きた時の体操

朝、目が覚めたら、ベッドの上で寝ている間にこわばった筋肉をやわらげる体操です。首が痛くなければ枕をつけて行っても良いです。両下肢の動きと体幹が目覚めます。



1 全身の力を抜く
※深呼吸をして呼吸を整えましょう



2 膝を曲げ、太ももから持ち上げる
5回



3 反対も同様に上げる
5回



4 両脚をそろえてお尻を上げる
※背中を反るのではなく
お尻を締めるように力を入れる
3秒×5回

もみの木ケアプランセンター 新職員紹介



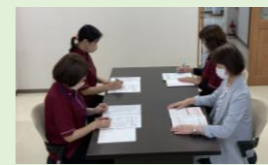
介護支援専門員 田中 俊子

この度、もみの木ケアプランセンターに入社しました田中 俊子です。食べる事、ドライブする事が大好きで休みの日には、ほぼどこかに出掛けています。

利用者の皆様に寄り添った支援が少しでも行える様頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

2023年7月勉強会

今月は「ファシリテーターのスキル」について学びました。



ファシリテーターとは、会議の進行役のことです。ケアマネジャーはサービス担当者会議において、自分が進行役となり、会議が円滑に進むように舵取りしていくことが求められます。会議は多様な意見を述べ合い、議論するための場です。しかし、思うように活発な議論が進まない状況もあります。そこで参加者から意見を引き出し、議論の整理を行うためのスキルを身に付けておく必要があります。

もみの木ケアプランセンター

サービス担当者会議は、利用者様、ご家族、サービス提供事業所の方など複数の方の貴重な時間を頂いて開催しています。私達は会議が円滑に進むように事前準備をしっかりと行うことに加え、ファシリテーターとしてしっかりと役割を果たせるように、今後も学び続けていきたいと思っております。

今回の勉強会では「感覚と運動の高次化理論」について勉強を行いました。もみの木相談支援センター

感覚と運動の高次化理論とは、「感覚」と「運動」を使いながら、外の世界で起こっていることや原則を理解し、それを深めることで「発達」の段階を進めていくものです。利用されている方の中でも特に未就学期にあたる利用者様の成長に必要な感覚刺激がどのような物か等を確認しました。



感覚刺激には種類があり、受け取り易さも異なります。揺れや手足の曲げ伸ばしを伴う動き・触覚→聴覚→視覚の順番で受け取り易さが難しくなります。その中でも聴覚と視覚に関しては年齢が上がってきた際には、優位になる感覚がそれぞれで変化していく事を確認しました。今回の勉強会の内容を活用し、成長に応じた計画相談支援を行っていききたいと思います。

今月は「認知症」についての勉強会を行いました。認知症とは、脳の病気や障がい、判断能力の低下により、日常生活に支障が出ている状態をいいます。

シニアコミュニティもみの木

<代表的な認知症>

- ・アルツハイマー型認知症
- ・レビー小体型認知症
- ・前頭側頭型認知症
- ・脳血管性認知症



認知症においては病状の進行や薬の副作用により、ふらつきや転倒・骨折が生じやすく、脱水や誤嚥性肺炎のリスクも高くなります。自らの体調変化を正確に伝えることが出来ず、症状も出にくいいため、病気の早期発見が難しくなります。私達職員が、知識や理解を深める事で、利用者様に安心してデイサービスに通って頂くことが出来るよう、今後も学んでいきます。

シニアコミュニティつばき 今月は「歩行補助具」について勉強しました。利用者様が使用する補助具には、いろんな種類があります。加齢やケガ・病気などによって、立位や歩行のバランスが不安定である方に対し使用し、歩行の安定性の改善と持久力の改善を図ることが出来ます。



<歩行補助具の種類>

- 杖・・・一本杖、多点杖
- 歩行器（歩行車）・・・左右ハンドル型、馬蹄型、固定型回脚歩行器

利用者様と接する時間の多いデイサービスの職員が、歩行補助具の正しい知識を持っていると、利用者様の歩行状態が変化した場合に、最適な歩行補助具の提案ができるようになります。今後も利用者様に安全に生活して頂くために、転倒予防に繋がる発信をおこなっていききたいと思います。

今月は、会話トラブルが多い子供達が喧嘩やいじめなどの大きな問題に発展することを予防するために「コミュニケーショントレーニング」について学習しました。

<トラブルの要因>

友達が嫌がっていても、言いたいことを言い続ける → 気持ちを読み取れない

<トレーニング>

クイズ形式で「こういう顔の時は、どんな気持ち」と聞いて答えてもらったり、イラスト入りの表情リストを使って気持ちを読み取る練習をする



おひさま

おひさまでは、子供に苦手なことを強要し、疲れさせてしまう『訓練』のようなトレーニングにならないよう、生活面で使えるスキルに注目し、楽しく取り組むようにしています。おひさまの子供たちがコミュニケーションスキルを身に付けることで、自分の居場所を見つけ出し、友達と楽しい時間を共有できるように、今後も職員の知識を深め、一人ひとりの苦手や特性に着目した療育を行っていきます。